

生きがい

3月号

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

代表者会 広報委員会

(844-4826)

貴重な体験を通して

高齢者生きがい創造学園

川柳講師

平成十七年(2005)から始まった同じ短詩系文学である川柳教室も短歌、俳句と三年に一度のローテーションで六回が終わろうとしています。

最初の教室で、川柳サークル「ねこやなぎ」誕生、二回目の教室で、川柳サークル「やながわ」誕生以来、三回めからは教室終了後、続けたい希望者は、二つのサークルのどちらかに加入して、年二回は、県内の施設などに出かけて「吟行」を楽しみ、和氣あいあいと現在に至っています。

三年に一度とは、大方の生徒は三才若返っている勘定で、考え方受け取り方も随分違います。

かつて、少しだけ齧った古事記や万葉集、源氏物語などとあまり変わらない人間の感情の機微と不可思議さに驚きながら、貴重な体験をさせていただいています。現代川柳とは、人間を、社会を、ときに鋭く、ときにやさしく、ときに遊び心をもって、ある時はドラマティックに、ある時は詩的に、ある時は

井原 みつ子



自分史に、私たちの話し言葉で、五七五のリズムにのせて、思いのままにうたいあげる創作です。

ルールを重んじる川柳界にとって、現代風といおうか種々のCMとして、575を川柳と名付けた句の氾濫を苦々しく思うのは、わたくしだけでしょ。うか。これも時代だと容認しながら、一方では知る限り、こんなにも「川柳」の文字が躍りだした時代を見たことの無い変な感動も覚えています。

が、今日まで、創造学園で「正統川柳」を学んでいる学園生をはじめ、かつて学ばれ今は止めている方々にも、すばらしい575のリズム感が身についていると信じ、すべての学園生が誇りをもって「エッセ」川柳に紛らわされないよう心から願ってやみません。

微力ではありますが、これからも体力の続く限りの学園最適の場所での教室を続けられたらと願いながら…。
白梅の香の流れる夜半にて

日	曜日	午前	午後
1	月	墨友(書道) いとこのこ(組み木) 桃山D(卓球) さくら(茶道)	百描会(美術) コンテニュー(ハーモニカ) ウッド(組み木) 和音(ピアノ) 桃山B(卓球)
2	火	家庭菜園教室 絵手紙教室 亀池B(陶芸) ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) 桃山E(卓球) みどり(茶道)	生け花教室 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸) リスト(ピアノ)
3	水	川柳教室 書心(書道) 亀池A(陶芸) アルカディア(ハーモニカ) 桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ)	コンテニュー(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
4	木	書龍(書道) 亀池B(陶芸) サンシャイン(写真) 桃山D(卓球) 別子GG(ゴルフ)	絵手紙あけぼの 亀池B(陶芸) ×ロディ(ピアノ) 桃山E(卓球)
5	金	桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) ×ヌエット(ピアノ) 弥生(生け花)	桃山A(卓球) 山雄会(カラオケ) なごみ(茶道) 絵手紙すみれ

短歌サークル いずみ

生き生きと

- ・片足でぐるりと回る郷ひろみ
それを真似してふらつく私
- ・すれ違つ心と心そのままに
日の沈みゆく海と向き合う
- ・岩風呂の岩のくぼみに一輪の
椿の花の在るを楽しむ

温泉が好きで温泉めぐりをしていた頃、ある温泉に立派な岩風呂があって、その横に椿の木が赤い花を咲かせていた。その木から落ちた一輪の花が偶然にも岩のくぼみに乗ったのだろう。その風情が面白くて詠んだ。現在コロナ禍で温泉も旅行も自粛している。大変寂しい。

短歌は日記の様なものと思った時、短歌を詠むことが少し楽になった。日々の生活の中での出来事、感情、思想などを気楽に三十一文字で表現する習慣を付ければ毎日の生活が楽しくなり、物の見方にも変化が出て来ました。

短歌会で披露される会員の皆様の作品にも色濃く生活感が滲み出ています。共感したり、新しい物の見方や感受性の豊かさに出会った時の驚き、悲しみも喜びも、苦勞も楽しみも、短歌の中に詠み込んで、新たに前へ進むうとする姿勢。

苦勞の多い人生ではありますが、短歌会の皆様と短歌を糧として歩みたい。生き生きと。

(浮島 加藤 高昌)

茶道サークル なごみ

生きがい創造学園との出会い



知人から高齢者生きがい創造学園で茶道教室がある聞き、すぐに申し込みに行ったのが五年前の事です。ところが茶道教室の募集が一年おきだと知らされ、残念な思いをしました。翌年早速申し込みに行き、入園する事が出来ました。

お茶を習い始めて、早くも四年、年齢のせいにはいけませんが、なかなか覚える事が出来ません。おまけに、右足の膝を痛め正座が出来なくなり、もうお茶のお稽古は無理かなと思っていたのですが、色々配慮していただき、又金村裕美先生方々が手取り足取り根気よく指導してくださり申し訳ない気持ちで一杯です。

最近では、行動範囲も制限され、友達との食事会等も少なくなり、家でゴロゴロしている日が多くなりました。そんな時、茶道サークルのおかげで短い時間ですがこの空気が持てる事を有難く思います。

お茶といえば、おいしいお菓子と抹茶を頂くのですが、近頃はコロナのせいで、慌ててマスクを外したり、付けたりと面倒な時もあります。昨年はコロナのせいで、文化祭や私達「なごみ」グループでの小旅行等、色々な行事が中止になり残念な事です。コロナに負けず出来るだけ注意を払い一日も早くもとの稽古風景に戻りたいものです。

(中萩 近藤 桂子)

日曜	午前	午後
8月	書楽(書道) さくら(茶道) 亀池A(陶芸) のこのこ(組み木) あすなる(俳句) ねこやなぎ(川柳)	百描会(美術) コンテニュー(ハーモニカ) 亀池A(陶芸) いずみ(短歌) 桃山B(卓球)
9月	絵手紙なでしこ 短歌みらい 亀池B(陶芸) エリーゼ(ピアノ) ワルツ(ダンス) みどり(茶道) 桃山E(卓球)	絵手紙はなみずき 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)
10月	アルカディア(ハーモニカ) 亀池B(陶芸) 桃山C(卓球)	コンテニュー(ハーモニカ) 亀池B(陶芸) ピアノコンチエルト 桃山B(卓球)
11月	桃山E(卓球)	桃山E(卓球)
12月	桃山C(卓球)	なごみ(茶道) 桃山A(卓球)
15月	墨友(書道) つれづれ(俳句) ウッド(組み木) 亀池A(陶芸) 桃山D(卓球)	書楽(書道) コンテニュー(ハーモニカ) いこのこ(組み木) 亀池A(陶芸) 桃山B(卓球) 和音(ピアノ)
16月	絵手紙ひよこ ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) 亀池B(陶芸) 桃山E(卓球)	生け花教室 やながわ(川柳) リスト(ピアノ) 亀池B(陶芸) 桃山A(卓球)

生け花サークル さつき

花を生ける

昨年は、コロナにより、学園が休園になったり、自粛生活を強いられたりと私達の生活に大きな影を落としました。今でも会食や旅行を控え、感染しないよう、させないよう気を遣った生活を送っています。

そんな中、ほっとさせてくれるのが花々です。一輪挿しにさした小花はもちろん、玄関に生けた大輪にも心が和みます。

ある時、宅急便の若い配達員さんが、玄関の花を見て「お花生けてるんですね。いいですねえ。やっぱり花があると違いますねえ」と言ってくれました。

また、花を見ても関心を示さなかった家族が「今日の花きれいだね。何という名前?」などと声をかけてくるようになりました。

何だかホワツとした気持ちになると同時に「花を生ける」というのは、自分だけの楽しみではなく周りの人の心にも安らぎを与えているのだと気付いたりしています。(何年もやっているのに、気付くのが遅いよ)と鴻上美智甫先生やサークル仲間と言われるかもしれませんが…)

今年もまだまだコロナの恐怖は続くでしょうが、花をながめて少しでも心穏やかに暮らしたいものです。

(金栄 岩田 美幸)

「さつき」の皆さん 花と心を通わせて



アマビエ

Hello! NEW

一日も早く、私たちの日常が戻りますように

日曜 午前 午後

17 水
書心(書道)
アルカディア(ハーモニカ)
桃山C(卓球)
広瀬GG(ゴルフ)
絵手紙令和
コンテニュー(ハーモニカ)
桃山B(卓球)

18 木
書龍(書道)
サンシャイン(写真)
別子GG(ゴルフ)
桃山D(卓球)
のこのこ(組み木)
ダ・カーポ(ピアノ)
モーツァルト(ピアノ)
桃山E(卓球)
絵手紙ひよこ

19 金
書峰(書道)
さつき(生け花)
桃山C(卓球)
広瀬GG(ゴルフ)
ピアノ10(ピアノ)
山雄会(カラオケ)
絵手紙レッドパール
桃山A(卓球)

25 木
フレッシュ2009(歩く)

※状況により予定を変更する場合がございます。詳しくは各サークル代表者にお問い合わせ下さい。



グラウンドゴルフ 広瀬GG

ホールインワン

講座生の頃でした。いつもの様にクラブを引いてボール目掛けて打ちましたが、鈍い音がしてボールが消え、スタートマットが跳ねました。慌ててマットを元の位置に戻している時「入った」と声がありました。見ると十五メートル先のホールポストの中に私のボールがありました。結果オーライのホールインワンでした。ホールインワンの魅力を感じたのはこの時でした。

広瀬GG会に入会后、私は自分に一つの課題を与えました。「ボールを真っ直ぐ打て」という課題の達成に向かって練習しました。

一年半位して成果が出始め、月例会のホールインワン賞の仲間入りが出来る様になりました。入会后間もなく三年になろうとしている現在、ホールインワンにこだわることなくグラウンドゴルフを楽しんでいます。

打ち損じてホールポストの周辺を行ったり戻ったり、4打になったと言いながら誰かがホールインワンを出すと、おめでごとく祝福し合う。今日の成績は今日限り、次の日を期待して笑いながら競技を終える。

ホールインワンが出なくとも競技そのものを楽しむ。出れば祝福し合う。メンバー全員がそうした姿勢によって生まれる柔らかく温かい雰囲気、これこそが私の心に響くもう一つの大切なホールインワンです。

(浮島 加藤 高嗣)

絵手紙サークル あけぼの

絵手紙を楽しむ



若い頃は手紙を書くのが好きでしたが、年を取るごとに字を書くこともおっくうになっていました。こんな私にできるだろうかと思いつつ、始めた絵手紙ですが、気が付くともう六年になります。

絵手紙は、不思議と最初に描いたものが、一番素敵に見えることです。上手く描こうとしてもなかなか描けません。描いている時の心の状態が表れるんですね。描こうと思えば、そのものをよく見ないといけない。季節を感じなければいけない。

六年も続いているのは、和田静子先生の毎回の楽しいご指導があったからだと思います。新鮮な手法、材料：「こんな仕方があるんだ」と感心することしきりです。はがきに留まらず、お盆・布・ハンガー等、次回の持参品は「何に使うのだから？」とわくわくしながら参加しています。かまぼこ板の絵も、縁遠いものと思っていたのに出品させて頂きました。

この一年、マスク姿のみならず、会話もほとんど無くサークル活動をするのは、大変つらいことでした。コロナが収束して元のように活動できる日が、一日も早く来ることを願っています。

(高津 岸 正美)

事務室からのお知らせ



●令和3年度
講座受講生募集開始!●

期間

令和3年3月1日(月)～3月22日(月)

講座冊子の配布は3月1日(月)からです。

高齢者生きがい創造学園・生涯学習センター・市役所・各公民館・交流センターなどにある冊子の応募用紙に、必要事項を記入し、申込先に提出してください。

※募集期間以外の受付はできませんのでご注意ください。

1) 惠贈お礼

- ◎ロビー生け花 令和三年二月度
- 鴻上 美智甫 様(講師)
- 神野 早希甫 様(講師)
- ◎川柳にはま 令和三年二月号
- にはま川柳会 様

書道サークル 書心

遠い昔の忘れ物



三度目のトライで、ようやく入れた書心サークル一年生です。ソーシャルディスタンスをとった教室で少しずつ先輩方と交わりながら、ゆったりと流れる時間を楽しんでいます。

退職を機に迷わず書道を選んだのは遠い昔の忘れ物のような思いがあったからです。中学の習字の授業で、先生の顔もしかられた理由も忘れてしまったけれど黒板の前に立たされたことがありました。とても長い時間に思え、涙と鼻水と忘れられない思いが鮮明に残りました。

それからは、あえて書とは疎遠で半世紀が過ぎました。生来の悪筆の上に、あまりにも低レベルのスタートでしたが、小野博先生のほめ言葉にあと押しされ続けてこられました。

今では筆を持つのが、とても楽しくて先生の「よろしい!」「非常によろしい!」が聞けるよう、これからも努力していきたいと思えます。

書道が加わった残りの人生が健康で日々楽しく過ごせるよう願っています。

(金子 近藤 悦子)

ピアノサークル 和音(おと)

「和音」をよろしく

一昨年のピアノ講座から、令和二年度にピアノサークル「おと」を立ち上げました。おとは「和音」という字を当てています。(名付け親は学園長かと)

メンバーは80歳代1名、70歳代4名、60歳代5名の10名と、ギリギリでのスタートです。男3名、女性7名です。

山内恵里先生の優しくも厳しい指導の下、みなさん、すこく熱心で、一番の若輩の私も負けていられない...と気合を入れています。

昨年度は学園祭がコロナ禍で中止、2年度の活動も5月から9月まで休止でしたが、10月から何とか再開してみると、皆さん以前と変わらず、ほぼ全員、毎回出席で、口では練習できてないといえながら、非常に頑張っているのが、見ていると楽しいです。うまく弾けず、しんどい時もあるでしょうが、チャレンジ精神がすごいなあ...と。

このような外部に出て、新たな経験に出会うのは、年を取ってからでも良いものだと感じています。ただ、通うための交通手段の確保が大事ですね。親しくなれば、助け合うことも可能かもしれません。

まだ他のサークルの方との交流が少ないですが、よろしくお願ひします。

(若宮 塩崎 篤志)

編集後記

啓誓!

今年の啓誓は3月5日です。

ようやく暖かくなった陽気にさそわれて、地中から顔を出した虫達が外界の風景を見て何を思うでしょうか?春の到来を実感するのかな。また、今なおコロナ禍から抜け出せない人間達を見て何と思ってしまうか?

でも私達は3密を避け、辛抱強く、マスク・手洗い・消毒など、出来る対策をキチンとして終息を待つしかありませんね。(生きがい子)



この「生きがい」は新居浜市のホームページでご利用いただけます。下のQRコードをご利用下さい。



「和音」の練習風景 楽譜と鍵盤に集中!!



俳句サークル あすなろ

京都俳句紀行



約1200年余り、日本の政治、経済の中心地として歴史を刻む古都、京都の旅を俳句で辿って見ました。

一、古都の桜

徳川幕府三百年の歴史を見届けた二条城、谷崎文学の名作「細雪」の四人姉妹が花見に繰り出した平安神宮、千本桜で有名な清水寺など多々あります。

古(いにしへ)の雅(みやび)を今も里桜

上賀茂の立砂仰ぐべに桜

四条五条ぬけて二条の桜かな

清水の花も満ちれば散りそむる

二、祇園界隈と舞妓さん

祇園から八坂神社のある東山にかけては、祇園情緒豊かな街並み「花見小路」がある。紅殻格子に石畳の街があり、舞妓が行き交っている。

若葉風舞妓つれだつ朝詣り

舞妓ゆく今日は祇園の春まつり

格子戸の低き路地裏京の春

春愁や奥は見えざる祇園茶屋

堂塔を仰ぎて古都の春惜しむ

三、ミシミアムの五山送り火

年越しや点火間近し五山の火
大文字古都千年の年惜しむ

◎俳句は真田孝夫作

(船木 真田 孝夫)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

思い出すつこつこさん(注・餅つき屋さん)の声ひびく炭住街はにぎやかに暮れ

火事現場必ず助ける救い出すそれが仕事や介護ヘルパー

「牛になるよ食べてすぐ寝るとワカメちゃん」サザエさんと居た茶の間なつかし

サークル「短歌いずみ」

外出も自粛慣れして家の内片付けすすむ終活前に

若人の箱根を走る姿見てようやく年が爽やかにあく

朝日受け山の緑は色映えて田舎暮らしの恵みを想う

清水 哲夫
神野 幸男
徳永 康夫

杉本 真泉
山川功次郎
横川 若水

学園柳壇

川柳教室



老いたとて輝きたいな俺だって

阿と畔で本音が分かる老夫婦

努力こそ輝く未来つかみ取る

山内 忠幸
伊藤 京子
小田登美夫

サークル「やながわ」

傘寿来て買いたいものは寿命だけ

ぼけ防止趣味は続けと叱咤くる

労わって労わられ早五十年

河端 輝満
竹内 信夫
村上 省二

サークル「ねこやなぎ」

免疫が上がると言えば皆が買つ

理屈より年の功にはシャッポ脱ぐ

急に来る春一番の花粉尘

服部 幸二
伊藤 純子
石田 恵子

きっぱりとNOと言えたね落ち椿

講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「つれづれ」

水汲めぬ凍てつく今朝の蛇口かな

神話秘めきらめく星の霜の声

鍋出汁のやさしき音は冬はじめ

産土の山河清しき初景色

腕白の父に敵はぬ喧嘩独楽

犬の声入れて友より初電話

村上 泰雄
青山 京子
片上 信子

講師 猪瀬美智子

サークル「あすなろ」

春雪や異国めきたるピアノパー

恵比寿大黒踊る山里初御空

コロナ禍や大根漬すトラクター

微笑仏風上に梅咲いてをり

水音を集めてゐるや露の臺

採り終へて身軽に眠る蜜柑山

真田 孝夫

横山 正和
太田 稔

講師 福永 立青